

議 事 録

会 議 名	令和6年第1回蒲郡警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	令和6年2月29日（木） 午後3時00分から午後4時50分までの間 ----- 蒲郡警察署 講堂
出 席 者	<p>1 委員</p> <p style="text-align: center;">松村 のぞみ 会長 小林 正人 副会長 佐々木 あやみ 委員 増山 澄人 委員 稲吉 貴之 委員 近藤 昌泰 委員 ヤンバオ マリア エレナ ヌキミズ 委員 以上7名（定数8名）</p> <p>-----</p> <p>2 警察署員</p> <p style="text-align: center;">内藤署長 鈴木副署長 塚田警務課長 鈴木会計課長 森生安課長 木村地域課長 長竹刑事課長 彦坂交通課長 金警備課長 以上9名</p>
諮 問 事 項 等	新入学生をはじめとした子供たちを守るための諸対策
答 申 等 の 概 要	<p>1 始業式や終了式の見守り活動の際に警察官だけでなく、敬老会や見守りボランティアとの立哨活動を行う</p> <p>2 子供110番の家の場所と利用方法を、警察から親や子供への周知</p> <p>3 交通ルールやヘルメット着用の大切さを教える交通安全教室を学年を限らずに実施</p> <p>4 中学生・高校生の非行防止対策として人の集まりやすい場所の警戒を強化</p>
そ の 他	次回開催予定 令和6年5月下旬又は6月上旬頃

会議の経過及び発言の要旨	
1	新委員挨拶
2	会長及び副会長の選出
	委員の互選により、松村委員を会長に選出し、会長は小林委員を副会長に指名した。
3	会長及び副会長の挨拶
4	署長挨拶
5	幹部紹介
6	協議会活性化施策（留置施設巡視）
7	前回の答申に対する取組状況（交通課長説明）
	(1) 諮問事項
	横断歩道等における一時停止の周知
	(2) 答申事項
	ア 横断歩道、継続的に現場に行く数を増やし、監視の強化、見せる活動を を広げ市民のモラル向上を目指す
	イ 高齢者と子供への教育
	ウ 高校生のヘルメット着用率の向上
	エ ヘルメットの補助金の適用範囲、横断歩行者妨害の罰金額などの開示、 可能な情報を広報やツールを使い周知していく
	(3) 推進施策
	ア 答申事項アについて
	(ア) 白バイによる交通取締活動の強化
	(イ) 蒲郡駅周辺での広報活動を実施
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
(ウ) 交通安全キャンペーンの実施	
イ 答申事項イについて	
(ア) 老人クラブへの交通安全講話	
(イ) 小学生に対する交通安全教室を開催	
(ウ) 高齢者に対する自転車安全教室	
ウ 答申事項ウについて	
(ア) 高校生徒会に対する働きかけ	
(イ) 高校生に対する自転車利用に特化した交通安全講話	
(ウ) 駅駐輪場において横断幕やのぼり旗の掲出	
エ 答申事項エについて	
(ア) 市役所職員と連携したヘルメット補助金の周知	
(イ) X (旧ツイッター) を活用した広報	
(ウ) 総代会におけるヘルメット補助金と自転車利用時のヘルメット着用の働きかけ	
8 速度等取締指針の説明	
交通課長から、速度取締指針の内容について説明があった。	
9 諮問	
(1) 諮問事項	
新入学生をはじめとした子供たちを守るための諸対策	
(2) 諮問事項設定理由 (地域課長説明)	
春休みから新学期にかけて、進級、進学等を控えた子供たちの生活環境は大きく変わり、犯罪被害や交通事故などに遭う機会が増加する傾向にあ	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
る。	
環境の変化が大きなこの時期に、大切な子供たちを守るための対策について忌憚のない意見を願いたいため	
10 協議	
(1) 見守り活動について	
委員 ・ 子供の親として、しっかり警戒をしてもらっていると感じており、小学生の登下校に不安は感じてはいない。	
始業式が始まってしばらくは、交通事故が不安であったが、小学校1年生のときに反射材のシールをもらったので、子供はランドセルに貼っている。	
委員 ・ 子供は狙われやすい。子供の集まる公園でよくパトカーが警戒をしている。	
新入学生は高学年と地域の見守りの人と登下校をしている。	
見守り活動の時期以外にも、制服の警察官が一緒にいると、見守り活動の人たちも子供たちも更に気が引き締まるのではないか。	
委員 ・ 警察官と敬老会などの見守りボランティアと一緒に立哨活動をしてきかないか。	
委員 ・ 子供にGPSをつける取り組みをしてはどうか。	
委員 ・ 子供の見守り活動には地域の住民が力を貸すことこそが良いのではないか。	
私の子供が小学校にあがったときに祖母に通学路まで送ってもらっていた。一緒に歩いて通学路の危険個所を覚えてもらうことが良	
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
いのではないか。	
委員	・ 新入学生といっても年代により違う施策が必要ではないか。
園児や小学生は、交通ルールを知らないので交通教室を繰り返してほしい。	
(2) 子供 110 番の家	
委員	・ 学校に子供 110 番の家のマップが掲示してあると聞いたが、もっとわかるようにしてはどうか。
委員	・ 子供 110 番の家は、地区により少ない地区がある。子供 110 番の家を増やすことも大切ではあるが、その家の周知と訓練をしてはどうか。
子供やその親に子供 110 番の家を訪問させて場所を覚えさせたり、子供 110 番の家の人にも対応をさせる訓練をしてはどうか。	
(3) 交通安全教室	
委員	・ ヘルメット着用の大切さを教えるべきだと思う。
小学生・中学生はヘルメットを着用しているが、高校生から社会人になるまでに、ヘルメットを着けなくなる。	
おしゃれよりも命が大切だと、ヘルメットの重要性について広報と指導をしてほしい。	
(4) 中学生・高校生への非行防止対策	
委員	・ 中学生や高校生には、非行防止対策をしてほしい。
年齢が上がるごとに様々な友人ができて、夜遊びをはじめとして行動範囲が外に広がっていくのでどうしたらよいか。	
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
パトカーが警戒活動をする効果がある。パトロールの強化をしてほしい。	
委員	・ 非行は一人ではできない。子供たちが集まる場所として、昼は商業施設、夜は公園の警戒活動を強化してほしい。
委員	・ 知人の子供が学校で「いじめ」に遭っているが、「いじめ」は犯罪ではないのか。
警察	・ 学校はいわゆる「いじめ」と言われる全ての行為を「いじめ」としてカウントをしているが、警察と学校の捉える「いじめ」は一緒ではない。犯罪であるかは行為により判断をする。 学校が親同士を呼んで話し合いをしようとして、今度は親同士が揉めることがある。揉めそうなときは警察と連携をする必要がある。
11 答申	
(1) 始業式や終了式の見守り活動の際に、警察官だけでなく敬老会や見守りボランティアとの立哨活動	
(2) 子供 110番 の家の場所と利用方法を、警察から親や子供への周知	
(3) 交通ルールやヘルメット着用の大切さを教える交通安全教室を学年を限らずに実施	
(4) 中学生・高校生の非行防止対策として人の集まりやすい場所の警戒を強化	
記録者	警務係長